



会員限定記事

トップ 速報 東京パラ 社会 政治 国際 経済 スポーツ エンタメ ライン 乗組員記事 菅政権の行方 ログイン

白鵬、八角理事長から注意 仕切りやガッツポーズで

メッシと新たに5年契約へ バルセロナ、年俸大幅減で

仲村 トオルの妻がこの人だなんて信じられない
The Financial Mag

野田聖子氏 遠のく女性初首相 地元混乱、盟友去り

石破氏 派閥の選対委員長に

外為法違反罪で社長ら起訴 軍事転用可能機器不正輸出

2020/3/31 18:30

社会事件・疑惑 裁判 地方関東 東京



東京地検は31日、生物兵器の製造に転用可能な噴霧乾燥装置「スプレードライヤ」を中国に不正輸出したとして、外為法違反（無許可輸出）の罪で、機械製造会社「大川原化工機」（横浜市）の社長、大川原正明容疑者（ ）＝ ＝ら3人を起訴した。

起訴状によると、3人は共謀して平成28年6月2日、輸出規制の対象となっている噴霧乾燥装置1セットを、経済産業相の許可を得ずに輸出したとしている。

他に起訴されたのは、同社の顧問相嶋静夫（ ）＝ ＝と役員、島田順司（ ）＝ ＝の両容疑者